

令和4年度
学校評価アンケート結果



高知県立須崎総合高等学校
令和4年12月実施

はじめに

学校評価は、学校の自主性・自律性を図る目標を掲げ、生徒、保護者や地域の信頼にこたえ、学校・家庭・地域と連携協力し、実情にあった「特色ある学校づくり」や「開かれた学校づくり」を目指し、その結果を総合的に分析し、今後の学校運営に反映させていく方策を探る資料とするものです。

評価者は、内部評価（生徒・教職員）と関係者評価（保護者・学校運営協議会委員）として実施し、生徒は本年度全員に配布されたタブレット端末によるアンケート機能を活用、保護者は連絡システムすぐーる及びお子様便、教職員はグループウェアのアンケート機能、地域（学校運営協議会委員）には郵送便により実施いたしました。

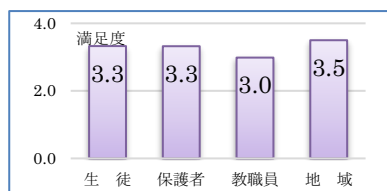
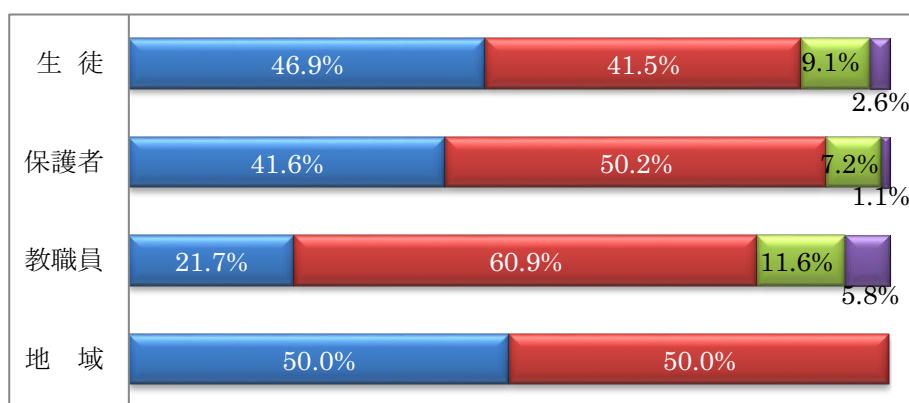
回収率は、生徒 98.6%、教職員 100%、保護者 78.2%、学校運営協議会委員 88.9%となっています。

学校評価アンケートの結果及び考察

（四角枠中の文末の（%値）は、令和3年度の肯定的な回答です。）

■①そう思う ■②ややそう思う ■③あまりそう思わない ■④そう思わない

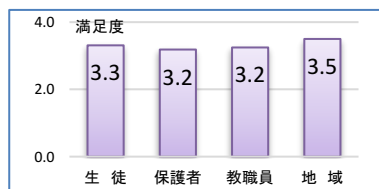
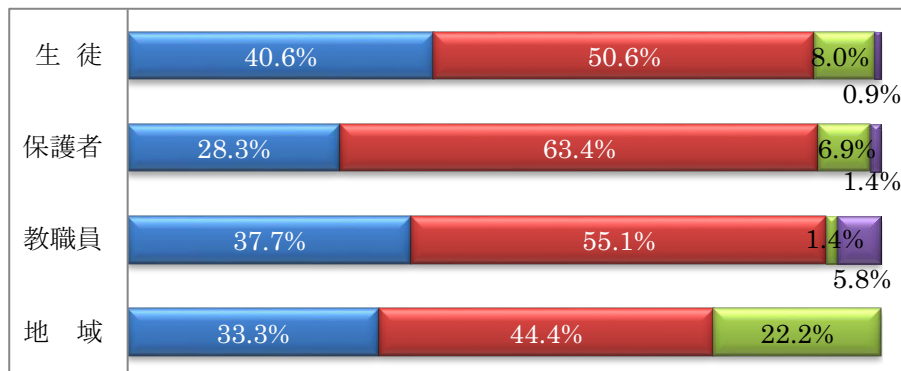
1 学校生活は楽しく満足していますか。



「あなたは学校生活が楽しく、満足していますか。」の問いに、肯定的に回答した生徒は 88.4%となっています。また、「子どもたちは、学校生活に満足していると思いますか。」の問いに肯定的な保護者は 91.8%、教職員は 82.6%となっており、生徒、保護者、教職員は全てで昨年度からわずかに増加しています。

この設問は、学習、資格取得、部活動、学校行事などの学校生活の総合的な評価であり、生徒の「満足度 3.5 以上」または「肯定的な回答 90%以上」の目標まであと少しです。（生徒 87.3%、保護者 88.3%、教職員 83.1%、地域 100%）

2 先生は わかりやすい授業に努めていますか。

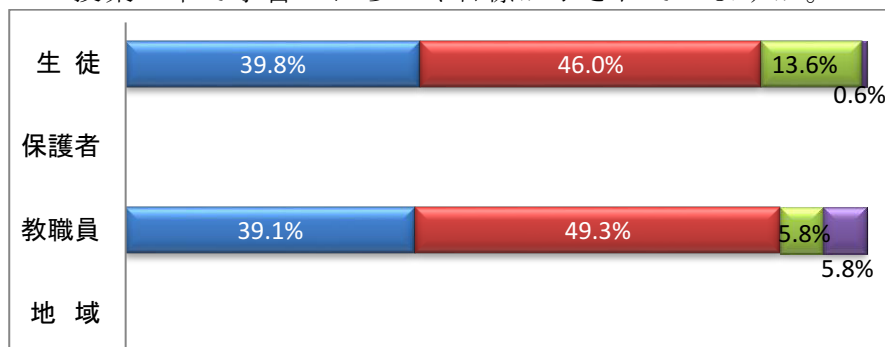


生徒、保護者、教職員、地域ともに 90%以上の高い肯定的な回答を得ました。「生徒にとってのわかりやすい授業」に対して一定の評価を得たととらえることができます。

ICTを活用した「わかりやすい」授業やグループワークを取り入れた「考えて表現する」授業をそれぞれ創意工夫しながら展開していますが、今後も教員は時代の変化に応じて、授業改善に努めていく必要があります。

（生徒 93.1%、保護者 89.4%、教職員 94.3%、地域 100%）

3 授業の中で学習のねらいや目標が示されていますか。

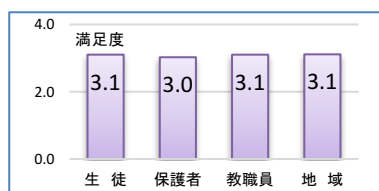
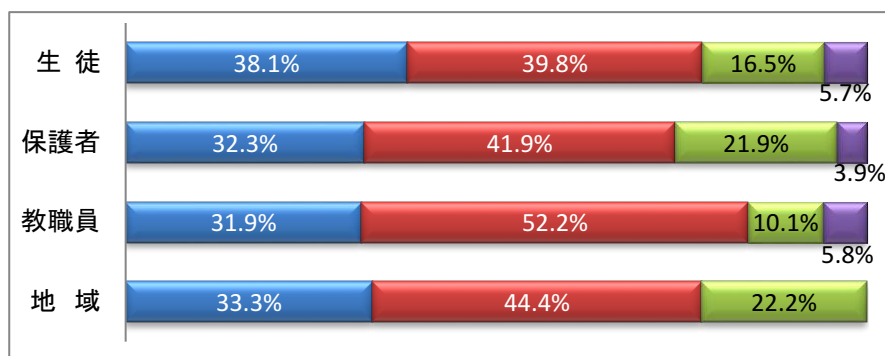


肯定的に回答した生徒は 85.8% となっており、昨年よりわずかに減少しています。一方、教職員の方は、88.4%であり、昨年よりわずかに増加しています。

「学習のねらい」を明確に提示し、学習内容の目標を立てて授業に臨むことは授業の基本であり、教員は「学習のねらい」がしっかりと生徒に伝わるように努めなければなりません。

(生徒 87.7%、教職員 84.5%)

4 夢や目標を持って学校生活を送っていますか。

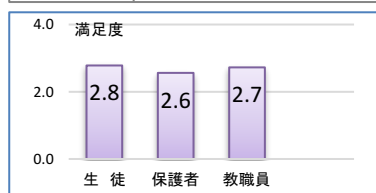
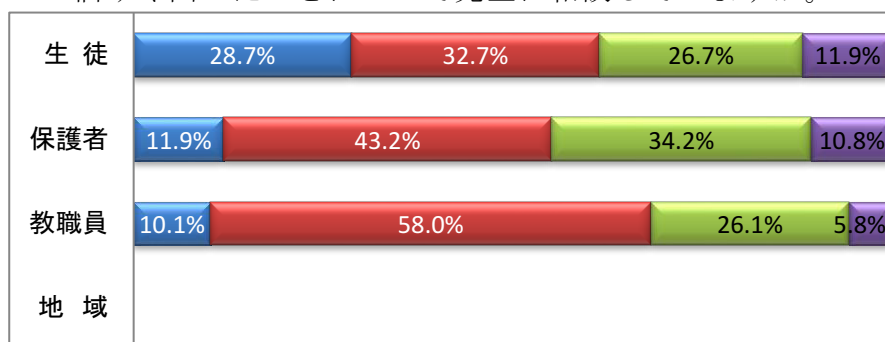


生徒の肯定的な回答が、77.9%となっており、昨年より若干減少していますが、保護者の方が思われている以上に、生徒たちは夢や目標を持って学校生活を送っているという結果となっています。目標を持つことで学校生活の過ごし方が変わり、充実度が向上すると思います。

これからも、早い段階で目標を持つ意義を考えさせる機会を増やし、目標を持たせる工夫に努めていきます。

(生徒 78.8%、保護者 73.3%、教職員 81.7%、地域 100%)

5 悩みや困ったことについて先生に相談していますか。



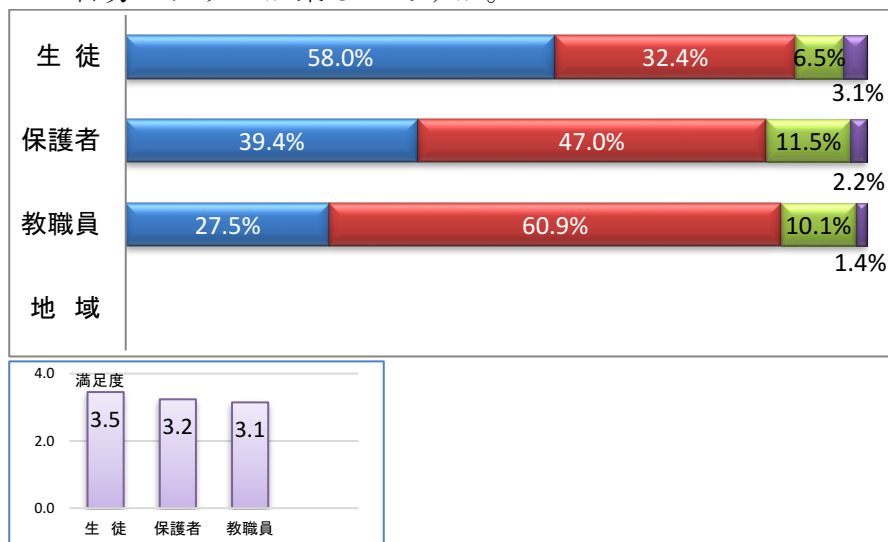
生生徒の肯定的な回答は、61.4%となっており、昨年より 7.6%減少し、教職員も、68.1%と昨年度より 6.5%減少しています。

生徒と教員間での強固な信頼関係構築が求められます。

教職員は研修等により、しっかりとしたカウンセリングマインド(コミュニケーションにおいて、相手の立場に立って理解しようとする態度)を身につけるとともに、生徒が気軽に相談できる雰囲気づくりに取り組んでいきます。また、SCやSSWとも連携し、教育相談の充実にも努めていきます。

(生徒 69.0%、保護者 58.3%、教職員 74.6%)

6 自分のクラスが楽しいですか。



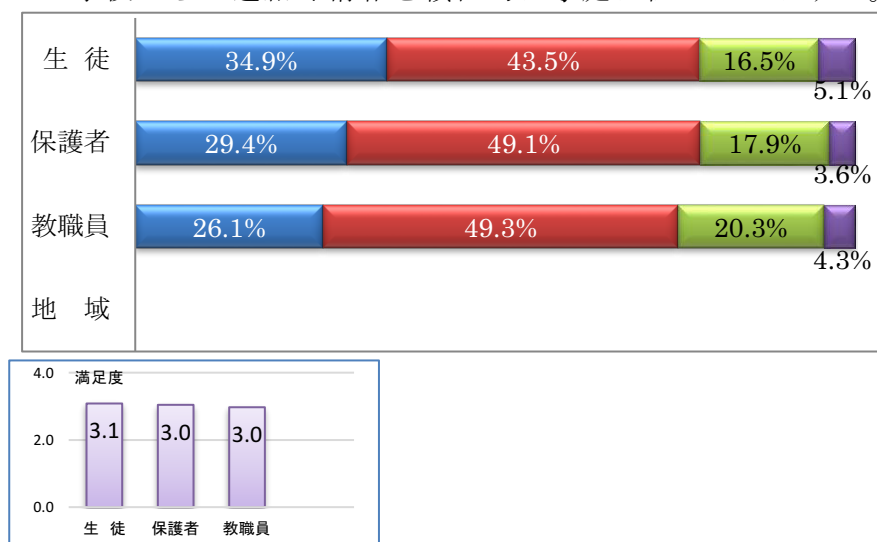
生徒の肯定的な回答は、90.4%となっており、昨年と同様の高い肯定的な回答になっています。

クラスの友人との学校生活において、自分の存在感や充実感を感じることができる人間関係や生活環境がおおむね整っていると推察することができます。

集団生活を営むうえで道徳教育や人権教育を意識し、自己の存在感や充実感を感じ取ることができるような雰囲気づくりをさらに推し進めていく必要があると考えています。

(生徒 91.5%、保護者 85.3%、教職員 88.8%)

7 学校からの連絡や情報を積極的に家庭に伝えていますか。



生徒の肯定的な回答は、昨年度からやや増加し 78.4%、保護者も 78.5%とやや増加しています。

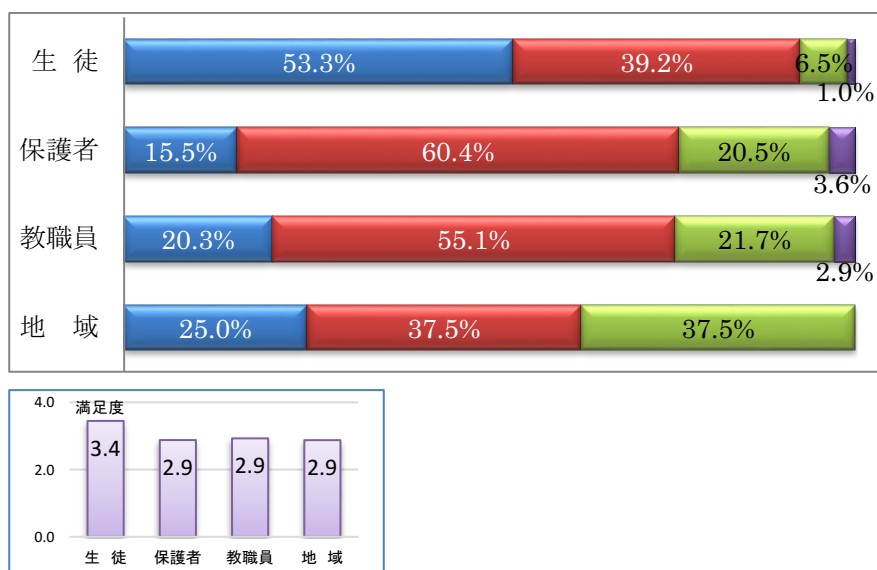
昨年度から、学校、家庭、地域をつなぐ連絡システム「すぐーる」を導入しましたが、これにより、学校から家庭に情報を迅速にかつ直接的に伝えられるようになりました。

こうした点が評価に結び付いたと考えています。

これからも、情報の一方通行に注意しながら、より積極的に情報を伝えるよう努めていきます。

(生徒 77.8%、保護者 74.8%、教職員 70.5%)

8 学校や先生は意見を聞いてくれますか。(学校運営に反映していますか。)



生徒の肯定的な回答は 92.5%となっており昨年度より 7.8%増加しています。

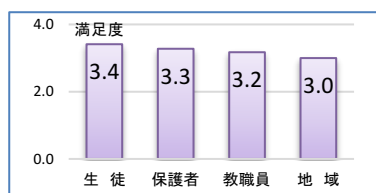
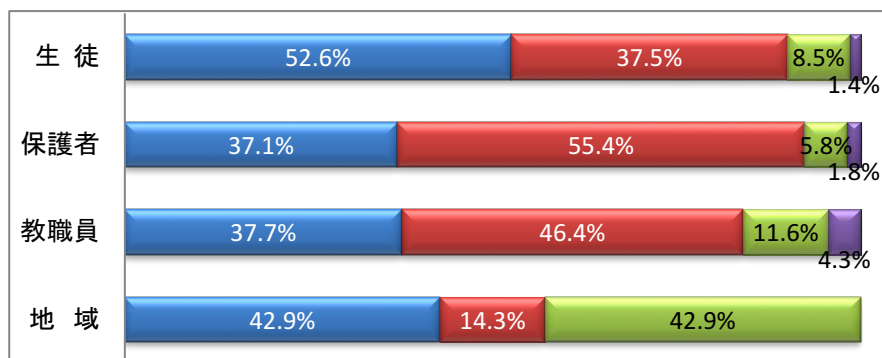
保護者、教職員もそれぞれ 75.9%、75.4%となり、昨年度より 2.6%、6.4%の増加となっています。

学校運営に関しては、良好な関係が築かれつつあると考えられます。

すべてのご意見を学校運営に反映させることは難しいかもしれませんが、生徒会やPTA役員会等で意見や要望を聞くとともに、学校運営協議会委員会などからも意見をいただき、よりよい学校運営となるように努めていきます。

(生徒 84.7%、保護者 73.3%、教職員 69.0%、地域 100%)

9 ホーム担任の正副担任制(普通科は複数担任制)は、きめ細かな指導ができていますか。



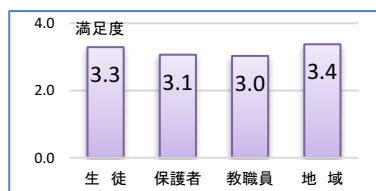
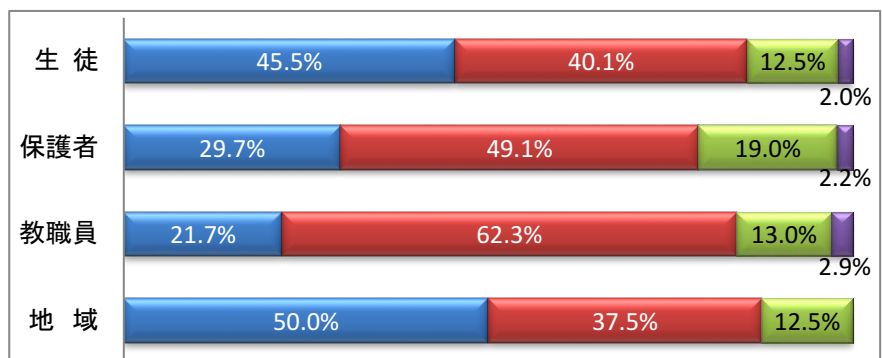
生徒の肯定的な回答は 90.1%と高評価を維持し、保護者は 92.5%と昨年度より高くなりました。

一昨年より、普通科において複数担任制を導入し、複数でホームの運営や生徒の指導にあたる体制としましたが、可能な限りこの体制を維持していく必要があります。

また、工業科では、専攻ごとに担任を配置しており、普通科とともに今後も、一人ひとりの生徒にきめ細かな指導や支援ができるように努めていきます。

(生徒 90.8%、保護者 85.2%、教職員 88.7%、地域 100%)

10 学校行事は楽しく充実していますか。

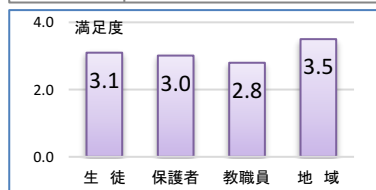
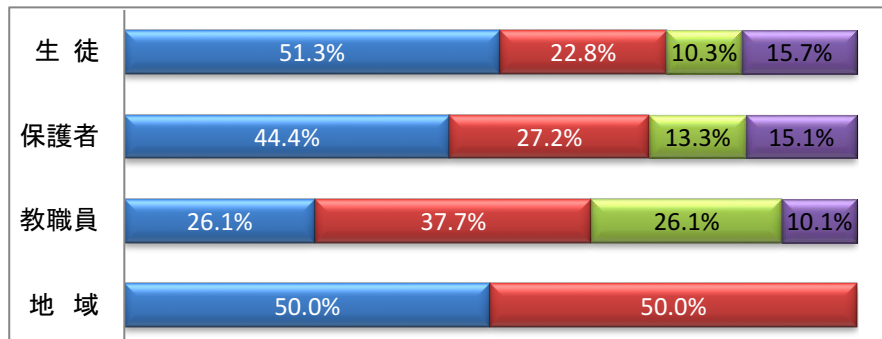


本年度も、新型コロナウイルスにより各種の学校行事が制約を受け、規模を縮小したり過密を避けるなど、様々な工夫や制約の下で、体育祭をはじめ可能な範囲で学校行事を行いました。

生徒の肯定回答は 85.6%と昨年度より 11.2%増加していますが、保護者も 78.8%と合わせるとコロナ禍のもととしては、まずまずの評価をいただくことができたと考えています。

(生徒 74.2%、保護者 75.4%、教職員 63.3%、地域 100%)

11 部活動に積極的に取り組んでいますか。

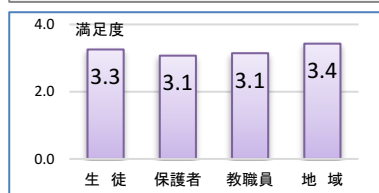
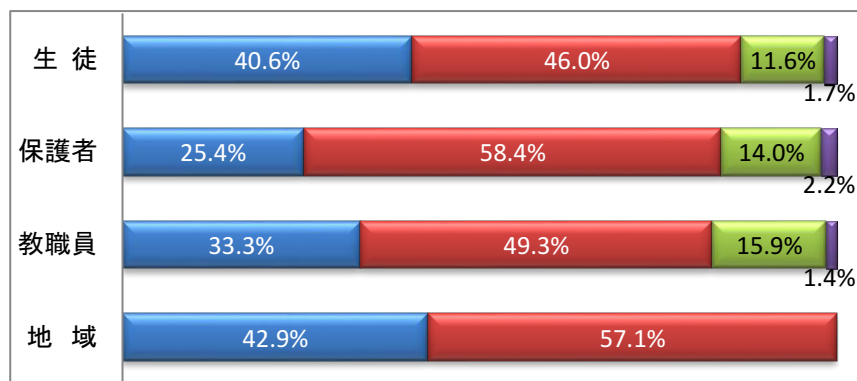


今年度も新型コロナウイルスにより、練習時間や活動内容に制約を受け、感染対策に気を配りながらの活動となりました。さらに、本県を会場としたインターハイも開催され、ソフトボール部や空手道部、カヌー部といった大会出場部活は、これまで以上に感染対策に注意が払われることとなりました。

生徒、保護者の肯定回答は 74.1%、71.6%となり、昨年よりそれぞれ 5.3%、4.9%と増加しており、今後も制約の中であっても充実した活動を模索していきます。

(生徒 68.8%、保護者 66.7%、教職員 67.6%、地域 100%)

12 学校は教育方針・教育目標に向けた取り組みをしていますか。

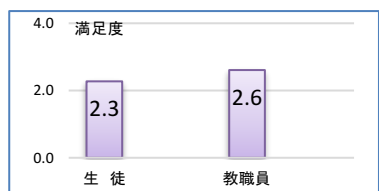
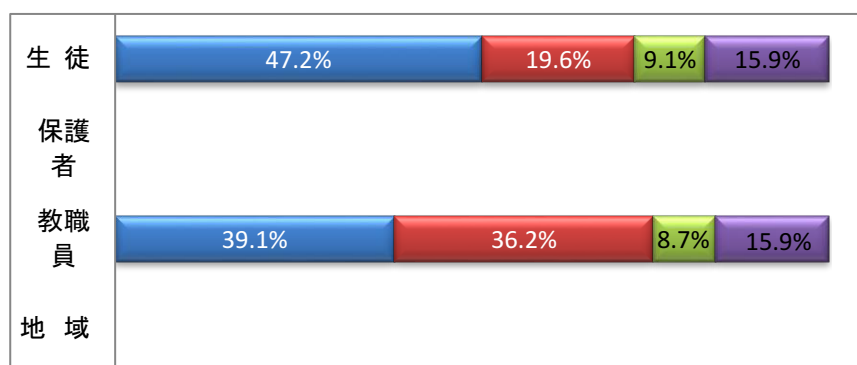


生徒の肯定的な回答は 86.6%となっており、昨年度より 3.5%増加し、保護者も肯定的な回答は 83.8%となり 3.5%増加しています。

設問 1 の「学校生活は楽しく満足しているか」と同じく、総合的な評価であり、生徒・保護者の「満足度を 3.5 以上」または、「肯定的な回答 90%以上」の目標を達成できるよう、取り組む必要があると考えています。

(生徒 83.1%、保護者 80.0%、教職員 81.7%、地域 100%)

13 Can-Do リストを意識した学校生活を送れていますか。



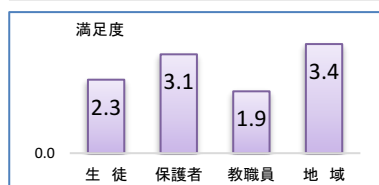
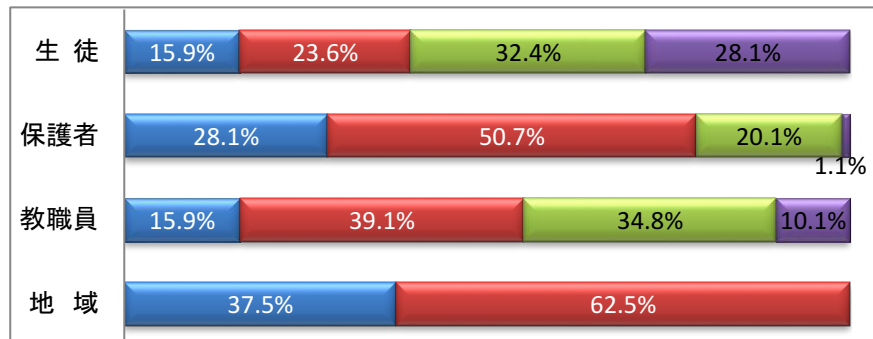
生徒の肯定的な回答が 66.8%となり、昨年度より減少しています。教職員は、75.3%となり、大きく減少しています。

「生徒に身につけさせたい力」を Can-Do リストにおいて具体的に示し、成長を促す取り組みを行っていますが、この活動を機会あるごとに生徒に浸透させる必要があります。

また、早い段階で意識し、社会人基礎力に繋げるため、LH や SH、学校生活全体を通し、向上させることができるよう取り組んでいきます。

(生徒 70.5%、教職員 91.5%)

14 地域貢献やボランティア活動等、積極的に参加していますか。



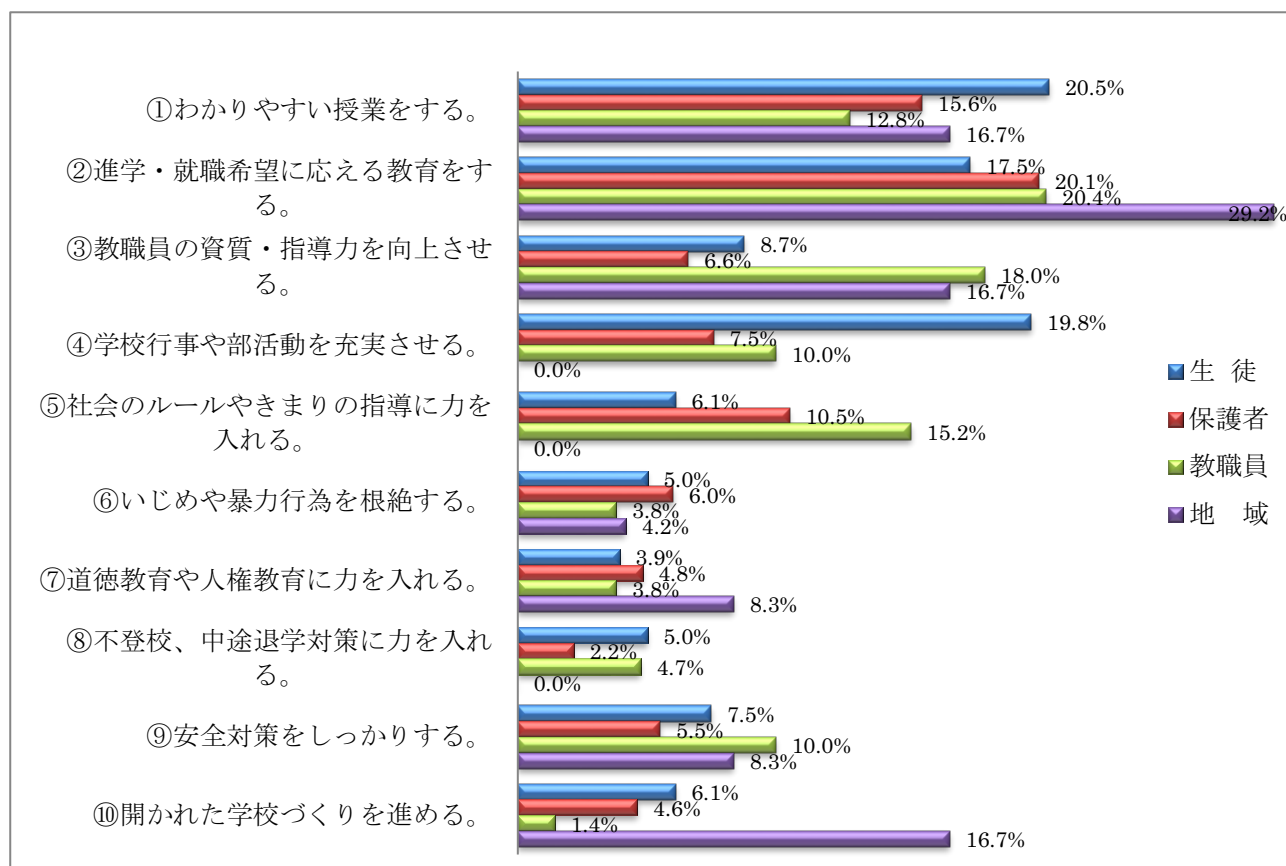
ものづくりや防災教育をとおして地域・社会に貢献できる人材育成を目指し、地域行事や自治体主催の防災訓練等に参加してきました。

肯定的な回答は 39.5%であり、昨年度を少し上回りましたが、今年度もコロナ禍で様々な活動が中止となり、生徒の参加機会が限定されています。

富士浜の清掃や、定期考査後の地域ごみ拾い等、コロナ禍のもとであっても可能な範囲でこれからも活動を継続していきます。

(生徒 37.5%、保護者 73.3%、教職員 42.2%、地域 100%)

15 これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか。



()の数値は、令和3年度の順位

	1 位	2 位	3 位
生徒	わかりやすい授業 (1)	学校行事や部活動の充実(2)	進学・就職希望にこたえる教育(3)
保護者	進学・就職希望にこたえる教育(1)	わかりやすい授業(2)	社会のルールや決まりの指導(3)
教職員	進学・就職希望にこたえる教育(2)	教職員の資質・指導力の向上(3)	社会のルールや決まりの指導(1)
地域	進学・就職希望にこたえる教育(1)	わかりやすい授業(2)、教職員の資質・指導力の向上(3) 開かれた学校づくりを進める(7)	

生徒、保護者、地域の順位は、昨年度と同じとなり、教職員のみ上位3位内での入れ替わりとなっています。

「わかりやすい授業」は生徒の1位で、保護者・地域とも2位に位置しています。設問2の結果を見ると、一定の評価は得られていますが、今後もICTの活用等、さらに授業改善を進めることが必要であることを認識しています。（学力向上）

「進学・就職希望にこたえる教育」が保護者、教職員、地域で1位でした。生徒でも3位となり上位に位置しています。学校は生徒全員の進路保障達成を目標に取り組んでいますが、単に進路目標の達成を目指すのではなく、長い人生全般を見渡せるキャリアリテラシーの育成にも取り組んでいます。さらに卒業生の進路先での動向も見守っていきます。（進路保障）

「社会のルールや決まりの指導」が、教職員及び保護者で3位でした。多くの生徒はルールや決まりの大切さを理解しています。学校だけではなく、家庭、地域との連携を深め、生徒を社会、地域ぐるみで見守っていく必要があります。（基本的生活習慣）

また、本年度4月から18歳成年制度が施行されました。満18歳に達した生徒は高校

生でありながら成人となります。大人としての自覚や社会に対する責任等についても、しっかり理解させなければならないと考えています。（18歳成年制への対応）

「学校行事や部活動の充実」は、生徒で2位と上位に入っています。今年度も、新型コロナウイルスにより、学校行事や部活動が制約を受けましたが、これからも生徒や地域の方々の様々なニーズを聞き、生徒の健全育成を目指してより一層充実させていきます。（部活動の活性化）

自由記述

自由記述欄にも、多くの方々から記載を頂き感謝申し上げます。お褒めの言葉や激励等もたくさんいただいておりますが、教職員や学校運営へのご意見やご要望等もたくさんいただいております。こうしたことについて、回答させていただきます。

1.授業や勉強について

生徒の皆さんから「グループワークを増やして欲しい。」「わかりやすく教えて欲しい。」といった要望がありました。

グループワークは、生徒の皆さん一人ひとりが主体的に授業に参加できるという大きなメリットがあります。各教科の授業でもグループワークを取り入れるよう工夫していますが、これからもその機会を増やしていきます。また、授業改善やICTの活用、特に本年度から生徒一人ひとりに配布されたタブレットパソコンの有効な活用により、今後もわかりやすい授業に取り組んでいきます。

次に、「進路実現のために、関係する教科のみの勉強に集中し、無関係な教科の勉強を減らしてほしい。」との意見がありました。

日本のすべての高校では、国が高校3年間で学習する必要がある教科や科目を定めています。その理由は、どの教科の勉強も将来立派な社会人となるのに必要な知識や教養を身につけ、豊かな感性や人間性を育むことにつながるからです。進路と直接関係ない教科も勉強することで卒業が認められることもあり、全ての教科や科目にしっかり取り組むことが大切です。

保護者の方からは、「社会人になってから必要とされる保険や契約、年金制度等に関する知識を身に付けるようにしてほしい。」という要望もいただいております。

ご存じのように、昨年4月から18歳成年制度が施行され、満18歳に達した高校生は、逐次成人となっています。こうしたことから、7月に高校3年生を対象として「成年年齢引き下げにかかる消費者教育」を実施しました。また、政治・経済や公共などの科目でも学習する機会があります。大切なことですので今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

この他にも個別の教科についてのご質問やご意見もいただいております。関係教科には内容を伝え改善を求めています。

2.学校行事について

生徒の皆さんから「学校行事を増やして欲しい。」という要望をいただいております。「文化祭と体育祭を毎年実施して欲しい。」という声もありました。学校行事は、授業時間の確保や他の行事との兼ね合いもあり、そのまま増やすことは難しくなっています。特に文化祭や体育祭は、それにかかる準備に多くの時間が必要となり、両方の実施は困難です。

学校行事はその量や回数（数）ではなく、ひとつ一つの行事をしっかりと充実させることで、楽しく思い出に残る学校行事にしてもらいたいと思います。

3.地域との交流について

生徒の皆さんから「学校周辺の地域との交流を希望する。」という声を聴いております。地域

の方からも「地域にある施設の活用を望む。」というご意見を聞いています。

総合的な探究の時間を中心に地域に出て様々な体験学習に取り組んでいますが、これからも地域の施設を積極的に活用するとともに、地域を支えている方々にもお力をいただき、地域を支え発展させる人材を育てたいと思います。

4. 教職員の言動や生徒との人間関係に関することについて

教職員全体で受け止め、生徒理解を基本とした生徒との良好な人間関係を構築するよう努めます。寄せられた内容から判断して、当該教職員が特定できるものについては、事情を聞き、必要な場合は注意するとともに改善を図るよう指導を行いました。

5. 家庭への連絡について

「休日の部活が急に中止になった場合の連絡が遅い。」また、「学校行事や部活等の時間を事前に知らせて欲しい。」とのご意見をいただいています。遠方からＪＲを利用している生徒や交通機関が厳しいため送迎が必要な生徒の保護者の方からいただいています。

交通の不便なところからも通学している生徒がいることをしっかり認識し、できるだけ早くお伝えするようにします。

また、「行事予定表の配布を早くして欲しい。」「届いていない。」とのお声も聞いています。

現在、行事予定表は、須総だよりに掲載して配布したり、学校のホームページに掲載したりしています。年度初めに年間の行事予定を掲載し、各学期の初めに更新しています。更新の抜かりがないよう気を付けていきたいと思っています

6. その他

「学校の坂道で生徒の通学中にも関わらず、スピードを出している保護者の車がある。」との指摘がありました。

通学路は生徒が歩いていることもあり、ご用があり学校においでた保護者の方は、生徒への配慮から徐行運転をしてくださるようお願いします。また、本校では原則として、保護者による学校までの自動車での送り迎えをお断りしていますが、このことを機会あるごとに保護者の皆様に周知しご理解を求めていると思います。

以上の他にもご要望もいただきましたが、できることから改善していきたいと考えておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

おわりに

本年度も保護者、地域の方々にご協力をいただき学校評価アンケートを実施することができました。いただいた回答に、生徒及び教職員のアンケート結果を加え、結果分析とともに意見集約をすることができました。

この結果を次年度以降の学校教育活動に生かしてまいりたいと思います。本年度も、新型コロナウイルス感染症のため、様々な活動が制約を受けましたが、より良い学校づくりのためには、今後も、学校関係機関等や地域との連携・協力の推進が必要不可欠です。皆様からいただいた自由記述のお言葉にも耳を傾け、今後の学校づくりに生かしていけるよう努めてまいります。

これからも保護者や地域の方々との連携をさらに深め、ご意見をいただき、地域とともに歩み、地域から愛される学校づくりを目指していきたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。